

アイサワ工業(株)… 52, 56, 57, 63, 69, 74  
 青木あすなろ建設(株)  
 …… 17, 20, 22, 52, 57, 62, 63, 74, 76  
 (株)浅沼組…………… 74  
 (株)安藤・間……………27, 52, 56, 57, 63, 74, 84  
 岩田地崎建設(株)…………… 74  
 梅林建設(株)…………… 62, 63, 64, 74  
 (株)エム・テック…………… 57, 74  
 (株)大林組…………… 48, 52, 57, 63, 74  
 (株)大本組…………… 52, 57, 63, 74  
 (株)奥村組……………41, 48, 52, 57, 62, 63, 74  
 鹿島建設(株)…………… 48, 52, 57, 63, 74  
 株木建設(株)……………52, 63, 74  
 (株)熊谷組…………… 52, 57, 63, 74  
 (株)鴻池組…………… 52, 57, 62, 63, 74  
 五洋建設(株)…………… 74  
 佐藤工業(株)…………… 52, 57, 63, 74, 75  
 三幸建設工業(株)…………… 74  
 清水建設(株) …… 48, 52, 57, 63, 74  
 大成建設(株)…………… 52, 57, 63, 69, 74  
 大日本土木(株)…………… 52, 57, 63, 74  
 大豊建設(株)…………… 48, 74  
 (株)竹中土木…………… 48, 52, 57, 63, 74  
 TSUCHIYA(株) …… 52, 74  
 鉄建建設(株)…………… 48, 52, 63, 74  
 東急建設(株)…………… 52, 57, 63, 74  
 東洋建設(株)…………… 74  
 戸田建設(株)…………… 28, 57, 63, 74  
 飛鳥建設(株)…………… 48, 52, 57, 63, 74  
 西松建設(株)……………29, 34, 48, 52, 57, 63, 74  
 日本基礎技術(株)…………… 52, 57, 63, 74  
 ピーエス三菱(株)…………… 62, 63, 64, 74, 79  
 (株)フジタ…………… 52, 57, 62, 63, 74, 83  
 (株)本間組…………… 52, 57, 63, 74  
 前田建設工業(株)…………… 52, 57, 63, 70, 74  
 松尾建設(株)…………… 62, 63, 64, 74  
 三井住友建設(株)… 48, 52, 57, 63, 74, 82  
 みらい建設工業(株)…………… 52, 74  
 りんかい日産建設(株)…………… 52, 57, 63, 74  
 若築建設(株)…………… 52, 57, 63, 74

# 土地改良

## 第292号

平成28年1月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4

農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

http://www.dokaikyo.or.jp/

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。



### 土地改良事業の大切さを再認識

私から見た土地改良「三村申吾青森県知事に聞く」を読んで、土地改良事業の大切さをあらためて実感しました。知事が提言する「攻めの農林水産業」の実現のために「水」、「土」、「人」の基盤を作る重要性として農業土木の手法はさらに必要であると感じました。私は高等学校で農業土木を生徒達に教えています。毎号、「土地改良」を読むのを楽しみにしています。学生ルポの記事は、生徒達に企業や現場を見学させるときの参考にもなります。今後も充実した記事の掲載を期待しております。

(愛知県、40代男性、教員)

### 青森県知事の土地改良にかける熱い信念

「私から見た土地改良」では青森県知事の土地改良にかける熱い信念をインタビューが見事に引き出してくれています。

幼少期の体験に根ざした想いをその後の人生経験で磨き上げて、政治的な信念まで高め、県民にも支持されていることに敬意を覚えます。

決して恵まれた自然・経済的条件でない県が東北トップの農業生産を維持していることに学ぶべき点は多いと思いました。

「閑話休題」では蕎麦屋の勘定と公共事業の受発注へのたとえが絶妙。

非常にわかりやすく問題点をえぐり出して、大いに溜飲を下げた読者も多かったのではないのでしょうか。誠実な蕎麦屋が赤字で廃業に追い込まれて最終的に一番困るのはおなかずかせた私たち消費者です。

(福島県、60代男性、地方公務員)

### 閑話休題と土地改良切り語りは楽しみ

興味深かった記事

1. 閑話休題 常識か非常識か
2. 土地改良切り語り 利害調整工学
3. 私から見た土地改良 三村申吾青森県知事に聞く
4. 北蒲原を支え守る内ノ倉ダム

前号のくろすおーばーの欄にも閑話休題が一読の価値ありとか裏から読み始めたとの投書がありましたが、毎号閑話休題と土地改良切り語りは楽しみにしています。

閑話休題は難しいことを易しく書き下ろしてくれるところ、切り語りはちょっと私には思いつかないような視点で書かれることが興味を引きます。

また、青森県には少し縁があるのですが、最近、青森県が元気になったような気がするの間違いじゃなかった。それは知事の頑張りのお陰だということが少し解りました。

(東京都、50代女性、地方公務員)

### CSRなどの特集企画を期待

今号でも多くの興味深い記事を拝読しました。ただ、リニューアルされて以来の熱心な「土地改良」の読者としては、全体の構成がやや「安定化」しすぎているような印象を受けました。決してマンネリというわけではないのですが、シリーズ企画に比してそれぞれの号での特集が毎回より鮮明に企画されれば、さらに読者の楽しみは増すのではないかと思います。たとえば、会員企業によるCSR(企業の社会的責任)の先進的な取り組みや、温暖化緩和や生物多様性保全などの地球環境問題への最先端の技術的対応、地域社会と建設会社の新たな関係性の構築など、一読者として期待する企画は多々あります。

(東京都、50代男性、大学勤務)

### 本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい(掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます)。

ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「特選 阿蘇あか牛 火の山井 贈答セット」をご用意しております。(2月末日締切)

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4

土地改良建設協会「くろすおーばー」係  
 メールアドレス

jigy@doikaikyo.or.jp

### PRESENT

熊本阿蘇の逸品ネットショップASOMO

特選 阿蘇あか牛 火の山井  
 贈答セット



写真はイメージです。